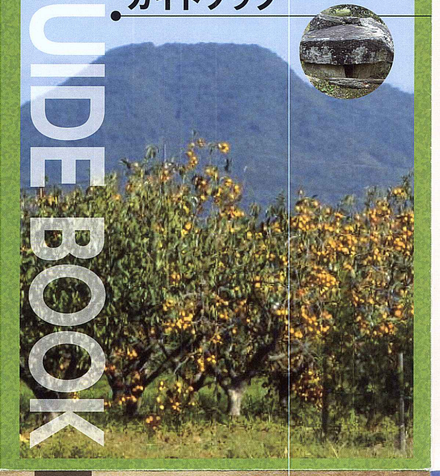
久多美

人情と豊かな自然と歴史の里

東郷町
東福町
久多見町
野石谷町
上岡田町

久多美地区ガイドブック

KUTAMI GUIDE BOOK



久多美地区とは

神代の昔、

大国主命が穀物倉を造るため、この地方に御巡行の折、暴風（波夜佐雨）にお遭いにおことばが、久多美の地名の由来と伝えられている。

出雲国風土記から抜粋

「郡家の正西五里二百歩なり、所造天下大神命、天御飯田の御倉造り給はむ處を覓ぎ巡行り給ひき。爾の時、『波夜佐雨久多美乃山』と詔り給ひき。故、忽美と言ふ。神亀三年（726）に字を玖潭に改む。

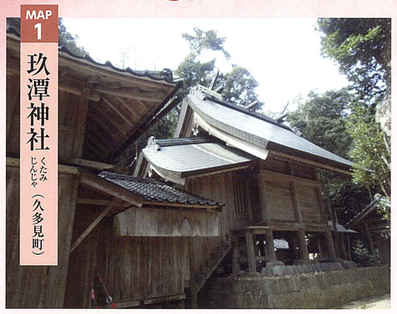
歴史は古く

玖潭神社、能呂志神社、久多美神社及び古刹高野寺と松江月照寺の大亀の由来でもある延命地蔵と平成23年に確認された陣城城郭（西の谷城）等の文化的資産も多く、基幹産業は農業が主体で特産物は柿（平田の５割以上を占める）、ぶどう、和牛が盛ん。久多美小学校には全国の小学校でも珍しい「りんご園」を有し、20年度には風車も建設され農村と新興住宅が混在する地域です。

出雲市 地域が誇る観光スポット

大好き！出雲 IZUMO

MAP 1 玖潭神社（くたみじんじゃ）（久多見町）

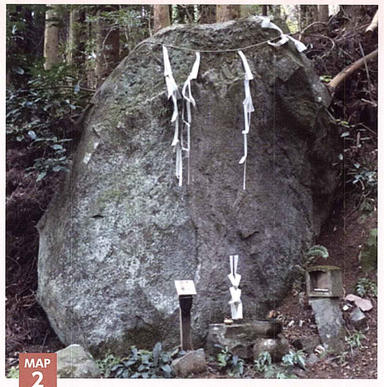


延喜式神名帳に出雲国楯縫郡玖潭神社、出雲国風土記には久多美社と記載してある古い社であって、むかし玖潭の郷の総氏神であったと伝えられている。

主祭神は大穴牟遲大神（大国主命）であって、祭神を同じくする出雲大社との縁故が深く遷宮の折には出雲大社より古材木が下渡された。ちなみに大国主命を補佐した功績により、出雲大社の八足御門内には久多美神社が建立され、久多美大神が祀ってある。

玖潭神社の例大祭は毎年５月３日に行われ出雲大社宮司の代参が参向されるのが例である。この例祭には古来より獅子舞と珍しい田植の神事が奉納され、毎年出雲大社の大祭にも獅子舞を奉納するのが定例である。

めずらしい無患子の大木がある。



MAP 2 延命地蔵（えんめいじぞう）（久多見町）

尼子・毛利時代の城郭のある「城山」山腹に巨石があり、縦、横約４ｍ。この岩に松平不昧公の命によりいわゆる留め石として何人もこれを切り取ることを禁ずる為に、３ｍの延命地蔵が刻まれている。これが有名な松江市月照寺にある大亀と寿蔵の碑石の親岩である。

延命地蔵

MAP 3 高野寺（こうやじ）（野石谷町）

高野山真言宗高野寺は天長年中（824～834）弘法大師の開基と伝えられ、仁治～寛元年中（1240～1247）紀州高野山から出雲に配流された法性の中興とする。「ある人の語りしは当山は雲州の高野なり」（雲陽誌）などと称された名刹で、寛政4年時には本堂（本尊・地蔵菩薩）のほか根本堂・奥の院・優婆石堂などの伽藍を備えていた。

大般若経は600巻に及ぶもので、正応元年から４年の歳月をかけて（1288～92）書写された国の指定重要文化財で、中国の宋の浄蓮法師の書写によるものである。最初は須佐神社に奉納され、毎年その御前で転読回向されていたが、いつ高野寺に移ったか経緯は不明である。

また、法性阿闍梨がこの地で没し、現在でも優婆石と云う石があり、法性の墓石ともいわれ霊験あらたかにして無病息災を祈るお堂と言われている。

本堂跡の広庭に大師お手植との伝承ある大銀杏の木に椿が宿り木となっている。

大師お手植の大イチョウに椿が宿木しているパワースポット

MAP 4 久多美神社（くたみじんじゃ）（東福町 東郷町）

出雲国風土記に記述がある久多見町字池田に五男神を祀る池田社から、久多美神社は分霊を奉還した神社である。神社の位置は東郷町と東福町にまたがって建てられ、主祭神は正哉吾勝々速日天忍穂耳命、天穂日命、天津彦根命、活津彦根命、熊野櫲樟日命を祀り、例大祭を毎年10月第２日曜日に行い、各町内から獅子舞、剣舞及び宮花が奉納される。

剣舞の奉納

MAP 5 能呂志神社（のろしじんじゃ）（野石谷町）

野石谷伝統芸能保存会による奉納神楽

延喜式神名帳に能呂志神社、出雲風土記には乃利斯社と記載してある古い社であって、昔は現在地より約500m余り南、庄田垣の由緒深い海苔石の近くに鎮座されていたが、その後天正６年（1578）現在地に奉還したもので、主祭神は天照大神、伊弉諾尊、伊弉冊尊、瓊々杵尊、素盞嗚尊、児屋根尊で野石谷の氏神で例大祭は毎年11月３日に行われ宮花、神代神楽、獅子舞が奉納される。（近くに海苔石がある。）

神社・寺

Shrine・Temple

出雲国風土記に記され、歴史ある、魅力的な神社・お寺があります。

日蓮宗

MAP 6 東満寺（とうまんじ）（東郷町）

東光山東満寺は日蓮上人御直筆の大曼荼羅御本尊がある。釈迦多宝の二仏と脇士の四菩薩が祀られている。寺伝によると延慶３年（1310）京都要法寺貫主上行院日尊上人の開基であって、本願主は八幡山城主大西三河守である。枝垂桜が楽しみである。

日蓮宗

MAP 7 為久寺（いくじ）（東郷町）

法光山為久寺は日尊上人筆の彫刻黒塗金文字が本尊で、寺伝では延元２年（1337）日大上人の開基の寺院とされる。「法華宗法光山という本尊は金字で書かれた板曼陀茶なり、日大上人開基なり」昔この寺が火災に罹り全焼し、今の三仏は石見の法蔵寺より特に請い譲り受け安置したと古老が伝う。なおまた当寺は波清口の祖先福田為久が草創した為、為久寺の寺号としたとも伝えられている。

臨済宗妙心寺派

MAP 8 勝永寺（しょうえいじ）（東福町）

医養山勝永寺は薬師瑠璃光如来が現在の本尊で、寛永14年（1637）松江市万寿寺２世龍沢和尚を勧請開山としている。２世心厳祖信和尚は40年間も住職し、享保８年（1723）本山妙心寺の末寺となり堂宇を建立した。なお、伝説では約３百40～50年前四国より移住した岡氏の建立と伝えられている。門前に石像の観音様が建立されている。

臨済宗妙心寺派

MAP 9 長寿寺（ちょうじゅじ）（久多見町）

高松山長寿寺は観世音菩薩が本尊で当山の開山は龍関大和尚であって開基は後醍醐天皇の孫、諱は重興字文之法号高松院殿寿峯桂堂大居士永和４年（1378没）である。その昔当寺は久多見町西の谷の山上にあったと伝えられその地に禅日寺の２寺があった由、玖潭神社の古棟札にあり「当寺に大般若経是れ證となすべきなり」と書かれている神宮寺である。明応５年火災にかかり焼失し、篤信の有志が相謀り、現在「元寺」と呼ぶ地に堂宇を造営、その後永続の住僧もなく天保２年（1831）西代町慈円寺４世栄獄和尚が当寺を兼務中現在の寺に改築した。

臨済宗妙心寺派

MAP 10 善福寺（ぜんふくじ）（野石谷町）

正永山善福寺の開創の年代は不明であるが、古は一小庵地蔵堂であって寺号があるばかりであった。寛文２年（1663）より住僧があり、宝永２年（1705）になって大林寺天沢和尚が当寺に来て、寺門の興隆をはかった。故にこれを開山と称する。明治30年６世玉寒和尚が大林寺から法系を相続して住職となり、法地（寺の資格）の全般を具備した。本尊は石仏の延命地蔵菩薩である。（弘法大師の作であると伝う。）元文元年（1736）の春、平田町多井屋喜三郎が釈迦如来の木像を本尊に奉祈しようとし、地蔵菩薩を高野寺坂に移し安置した。ところが、ある夜、霊夢があって元の寺に帰らせ本尊として奉祈せよと告げられた。故に即時迎えて帰りもとのように奉安したと古老の口伝えである。大きな観音様が建立されている。

MAP 11 護国延命地蔵尊（ごこくえんめいじぞうそん）（野石谷町）

昭和44年５月11日、航空自衛隊福岡築城基地より、鳥取県美保基地に飛行中の３機が久多見町槍が崎山頂に激突し、３隊員が殉職される痛ましい事故があった。地元久多見町では殉職３士慰霊の為、殉難山頂に延命地蔵尊を建立し安置し、護国延命地蔵尊護持委員会を組織し、慰霊法要を毎年命日に行なっている。

MAP 12 山之助神社（やまのすけじんじゃ）（久多見町）

久多見町の山中に建立されている。主祭神は金山彦命である。近くにこの神社と同じ名前の山之助池も存在する。

古墳等

Tumulus

久多美地区には数多くの城址・古墳があります。古の世界へようこそ。

MAP 13 西ノ谷城址（にしのたにじょうし）（久多見町）

戦国時代（雲芸攻防戦（1562～1566）～尼子復興戦（1569～1571～1578）の間に陣城として、毛利方が再整備する。山頂に主郭を持ち、郭を階段状に重ね、登土塁で防ぐ虎口への登城道がある。城郭面積は11500㎡で県下２番目の規模を持つ。元、玖潭神社があった場所。

MAP 14 八幡山城址（はちまんやまじょうし）（上岡田町）

尼子氏の家臣、大西三河守の居城と伝えられているが確証はない。南北に伸びる稜線と両端の東側下方斜面に郭がある。このうち北側の下方斜面の郭は駐屯空間として造られたものと考えられる。郭の削平は十分で直線的構成で、二重の堀切や竪堀、枡形虎口など、進んだ築城技法が駆使されている。雲芸攻防戦か尼子家復興戦にあたって毛利氏が修築したものであろう。

MAP 15 石堂平古墳群（いしどうひらこふんぐん）（野石谷町）

平成９年11月に野石谷町で県道斐川一畑大社線を建設中に古墳が発見された。調査の結果、７世紀前半横穴式石室を持つ１号墳と祭祀に使用されたと考えられる集石遺構が確認されている。出土品は教育委員会で保管。

MAP 16 海苔石（のりいし）（野石谷町）

能呂志神社より500mばかり南に石が３個ある。長さ約1.5m、横約90cm。古老の言い伝えではこの石を海苔石と云う。冬になり、海中に海苔の生ずる時節には、必ずこの石にも苔が生え、海苔に似て、海辺の海苔が終わる時はこの海苔もまた枯れてしまうと言われている。

その他の古墳群	伊儀・山崎・佐藤谷・浜

自然

Nature

都会では見れない、どこか懐かしい日本の原風景を感じてください。

MAP 17 桧ケ山（ひのきがやま）（上岡田町）

出雲国風土記に阿豆麻夜山と記載され久多美、桧山、佐香地区に接する高さ333mの山で、この山には桧ケ山城があった。三方に郭が延びている放射状連郭式山城である。城主は定住でなく、いわゆる番衆として派遣駐屯されたものと推測される。防御の要衛の警戒地点としての役割を持っていたと考えられる。

MAP 18 見椋山（みくらやま）（上岡田町）

出雲国風土記に記載されている320ｍの山で地元では通称高野寺山と呼んでいる。ここに高野山真言宗高野寺が建立されていた。

MAP 19 摺木山（すりきやま）（野石谷町）

この山は西田地区本庄町にあり、平田航空路監視レーダー施設（工期は昭和59年～平成元年）がある。進入道路は野石谷町上寄で終点は本庄町茅代で全長約５km、幅員５ｍの市道上寄摺木山線で上がる。

MAP 20 しだれ桜（東郷町）

東郷町東満寺の境内には、しだれ桜が毎年４月頃には見事な花をつけ地区民の目を楽しませている。

MAP 21 二連の椹（にれんのさわら）（東福町）

東福町作暮の常松秀清氏宅の庭にはとても大きな「さわら」の木がある。３本のうち２本が特に巨木に成長して樹高も２本とも32m程のもので見応え十分である。出雲市の市の木に指定されている。

MAP 22 平田森林公園

MAP 23 作暮池（さくぼいけ）（東福町）

面積は2.5Haで８月には美しいハスの花が見られる。

MAP 24 明地池（あけちいけ）（野石谷町）

出雲国風土記では赤市池で面積は3.6Ha、山間部には棚田が多く、古来灌漑は溜池によるところが大きかった。カモが飛来する池。

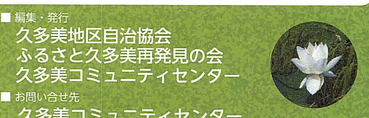
MAP 25 四方が池（よほがいけ）（野石谷町）

野石谷から美保へ越す山道のほとりにあり、昔から大蛇がいるという伝承がある池で、「四方が池の大蛇」といって伝説にもなっている池。

MAP 26 池田池（いけだいけ）（久多見町）

MAP 27 山之助池（やまのすけいけ）（久多見町）

■ 編集・発行
久多美地区自治協会
ふるさと久多美再発見の会
久多美コミュニティセンター



■ お問い合せ先
久多美コミュニティセンター
〒691-0065　島根県出雲市東郷町１７５　TEL 0853-63-1374